

令和4年度 国語科 授業改善推進プラン

大田区立調布大塚小学校

1 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 観点別達成率(経年比較)

*評価の観点 ①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度

*目標値に対して △上回っている ≍同程度 ▼下回っている

	第4学年			第5学年			第6学年		
	①	②	③	①	②	③	①	②	③
令和4年度	△	△	△	△	△	△	△	△	△
令和3年度				△	△	△	△	△	△
令和2年度							△	△	△

(2) カテゴリー別の課題

	中学年	高学年
基礎・活用	「活用」と比較すると「基礎」に課題	「基礎」と比較すると「活用」に課題
領域	目標値は上回っているが、「話すこと・聞くこと」に課題	目標値は上回っているが、「書くこと」に課題
解答形式	目標値は上回っているが「記述」に課題	目標値は上回っているが「記述」に課題

2 昨年度の授業改善推進プランの検証

成果	課題
・考えや意見の交流をし、理由や例を示すときの例示をすること。	・主語・述語など文の構成要素を捉えること。 ・調べた結果や話し合ったことをもとに書くこと。

3 観点別授業改善のポイント

低学年		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・主語・述語を確認しながら読んだり、短文づくりをしたりして、文の構成要素の知識の定着を図る。	・「順序を表す言葉」を使って、分かりやすく表現する習慣を付ける。 ・考え→理由の順で話す習慣を付ける。	・モデルを示したり、必要な要素を話し合う時間を設けたりして、イメージをもって取り組めるようにする。
中学年		
・教科書巻末にある「言葉のたから箱」を活用し、「様子を表す言葉」「気持ちを表す言葉」などの語彙を増やす。 ・「問題提示」「例」「理由」「結論」等段落が示すものを丁寧に確認するなどして、段落や段落相互の関係を明確にし、活用できるようにする。	・資料から分かることを丁寧に確認し、文章と結び付けられるようにする。資料から分かることを分析し、考えたことを書く機会を設定する。 ・話し合いの際には、意思表示ができるように聞く習慣を付ける。	・モデルを示したり、必要な要素を話し合う時間を設けたりして、イメージをもって取り組めるようにする。
高学年		
・構成や表現の例示を教室に掲示し、活用できるようにする。 ・『書くて楽しいね』などを活用し、推敲の視点を明確にして分や文章を整えられるようにする。	・共通する言葉、繰り返し出てくる言葉を押さえながら読むことができるようにする。 ・指定された段落の数や文字数で書く機会を設定する。	・モデルを示したり、必要な要素を話し合う時間を設けたりして、イメージをもって取り組めるようにする。 ・書きあがった文章を互いに読み合い、相互批評して、よりよくする機会を設ける。

